

令和7年度 【五色精光園共同生活援助事業所】 地域連携推進会議 議事録

事業所名：五色精光園共同生活援助事業所

開催日時：令和7年11月11日（火）11:30～11:50（GH見学）14:00～14:30（会議）

開催場所：五色精光園成人寮地域交流ホール

出席者：利用者代表、保護者代表、地域関係者、協議会推薦者、市町村担当

施設職員

参加者 計15名

会議次第

- 1 施設見学・食事体験
- 2 園長あいさつ
- 3 自己紹介
- 4 GH概要説明
- 5 質疑応答

【質疑応答】

Q：ヒヤリハット・事故報告で薬の服薬忘れとあるが具体的にどのような事象であったのか。

A：グループホームの服薬管理に関し、利用者によってはご自身で管理している方もありますが基本的には職員が管理をさせていただき服薬支援をしている。この事案の場合、服用する薬が所定の場所にセットされておかなければいけないものがされていなかった為に薬の服用できていなかった。現在、服薬準備時におけるチェック機能を強化して対応している。

Q：地域生活でなにか自治体との地域活動への参加するような取り組みをされているのか。

A：コロナ禍以前では地域交流行事などの参加があったが、現状は以前に比べると積極的に参加は出来ていないため今後検討していく。

Q：成人寮等入所施設では管理栄養士が栄養管理や食事の形態など細かく対応されていると思うが、グループホームでの食事についてはどのように対応しているのか。

A：グループホームでは栄養士は配置できていないため、支援員や世話人で食事の摂りにくい方への配慮を行っている。成人寮ほどではないが利用者の特性に合わせ必要に応じた食形態（刻み食や、栄養補助など）で提供するようにしている。

Q：事故とヒヤリハットの報告について、本来は事故よりもヒヤリハットが多くあるべきだが事故の方が件数として多く出ているのは、ヒヤリハットとして上がっていないものが多いのではないのか。

A：ご指摘の通り、ヒヤリハットについて上がってくる件数はかなり少ない。又事故報告にしても、本来はその事例を今後に生かすためのものであるが、職員の『始末書』的なものという印象が強くなっている傾向がある。その為書式から見直しを行うことで、ヒヤリハットや事故報告を出しやすくする取り組みを始めたところである。

【その他】

2025 年 12 月 5 日に五色精光園公開セミナーが五色文化ホールで開催される。内容としては映画「梅切らぬバカ」鑑賞会、シンポジウム「梅切らぬバカ」から考える地域共生社会の二部制。ぜひ近隣の方々にもご紹介していただきたい。